2011（平成23)年７月１日　第31号

発行：（福）十字の園法人事務局
理事長　平 井　　章
住所：〒431-1304
静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11
tel 053-414-1400
fax 053-437-1352

社会福祉法人　十字の園

ぶどうの木

（ヨハネ福音書 15章）

辞令交付式　遠州栄光教会三方原にて

一人ひとりの尊厳を守りつつ向かい合い、意思を尊重し、そのときに最善のことができるよう、「あなたのために」施設のすべてを活かします。
「人の子が、仕えられるためでなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのと同じように。」（マタイによる福音書20章28節）

伊豆高原十字の園　次長　**重永　仁美**

２００９年９月号「ぶどうの木」の中で、青木施設長は、伊豆高原十字の園の移転改築に向けて「地域との交流の中でより良い関係作りに努力したい」と語りました。その施設が完成し今年４月１１日に献堂式を行い、４月１６日に入居者の引っ越しを無事終えることが出来ました。平井理事長は、常々「夢を持ちましょう、そして叶えましょう」と話されています。設計から完成まで約１年半という大変短い工期でしたが、私たち職員は夢と希望を叶えるために不屈の精神で邁進しました。「仕えられるためでなく仕えるために」

新施設は、入居者と短期利用者合わせて１００床となるため、職員も３０名以上を採用し「入居者一人ひとりにあった生活を支える」という意味から介護職員から生活支援員と職名を変えました。引越しから一ヶ月が経つ今、新たな環境の中で今までの介護の反省と新しい目標が見え、国が進める「全室個室ユニットケア」の意味が掴めてきました。環境は、人の心や人間関係さえも変えます。生まれ変った環境の中で「ユニットケア」について地域や入居者、一人ひとりの幸せの為に職員皆で追求したいと思います。

2010年度事業報告

新しい時代に向かって十字の園の基盤づくり

社会福祉法人十字の園　理事長　平井　章

2010年度は、十字の園創立50周年記念事業として、十字の園大会の開催と伊豆高原十字の園移転改築整備事業を実施しました。新しい時代に向けて「精神的な基盤」、「施設の基盤」、将来に向けた「財政の基盤」及び「経営の基盤」づくりをした年でありました。

1．精神的な基盤

十字の園は創立以来、ディアコニッセの精神を基としたキリストを土台に据えて法人運営が継続されてきました。法律も、制度もない中に日本で最初の特養を創設し、御殿場、伊東に特養が創られ、拡大発展としてではなく、新時代のニードに応え、創設来のパイオニアの精神、「やらまいか精神」によって歩んできました。

精神の基盤づくりとして、創立50周年事業を通して5つのことに取り組みました。第1に、天羽道子氏（ベテスダ奉仕女母の家理事長）の講演を通して「ディアコニッセとしての仕える働き」を学びました。第2に、法人内各研修において「法人の理念（精神）」を伝えました。第3に、次世代育成を目的に理事長による「平井塾」を開催しました。第4に、施設ごとに創設からの歴史を学び、現職員から次の時代へのメッセージを発信しました。第5に、次世代への理念（精神）の継承を目的に、創立50周年記念DVD「十字の園50年の歩み～創立の精神から、新しい福祉に挑戦～」の制作と記念誌「夕暮れになっても光がある」を発行しました。

2．施設の基盤

伊豆高原十字の園移転改築施設整備事業の国庫補助の内示を受けて、全室個室ユニット型特別養護老人ホームと、在宅福祉事業を一体化した総合福祉施設として年度内に竣工することができました。生活保護世帯の人が一般と同様に入居できる仕組みを作ったことは特筆できます。また、厨房はオール電化による真空調理方式を採用しました。今後の、地域密着型事業に向けた先行的な施設の基盤づくりとなりました。

次年度以降の施設の基盤づくりとして、御殿場十字の園では、サテライトデイサービスの移転のため利用者家族から申し出のあった建物を借り受け整備しました。松崎十字の園では、就労継続支援B型事業の活動拠点として町の中心部で国道沿いの土地建物を購入しました。

3．財政の基盤

2010年度決算報告書を参照してください。伊豆高原十字の園の施設整備に資金を投資しましたが、当期事業活動収支差額は59,325千円、当期資金収支差額5,350千円、施設整備並びに修繕積立金として72,532千円を積み立てました。次期繰越活動収支差額989,044千円、期末資金収支差額は840,553千円であり、新規借入金を含めて借入金残高は1,867,833千円です。伊豆高原十字の園の償還財源は居住費で賄われます。

施設単位では課題はありますが、伊豆高原十字の園については定員63名から今回の施設整備で定員100名になり、施設本体が財政の基盤のある施設となりました。これまでの、浜松十字の園、御殿場十字の園に加えて財政基盤をつくる施設となりました。

4．経営の基盤

経営の基盤は「組織」。創立から50年が経って十字の園は、浜松と御殿場、伊東、松崎において、特別養護老人ホーム4施設、ケアハウス3施設、養護老人ホーム、障がい者施設と介護保険事業、障がい者支援事業、制度外事業の44事業を設置運営し、職員数も600人を超える組織に成長しました。

経営の基盤は「人」。前年度、浜松十字の園に山本隆弘施設長が就任し、今年度は、上野貢一施設長がアドナイ館の施設長に就任し、御殿場十字の園の後任に宮島克利施設長が就任しました。また、10月より鈴木新法人事務局長が就任し、法人体制の確立に取り組むことができました。計画的な世代交代に取り組んでいます。

経営の基盤は「人材育成」。職員研修の充実は、入居者、利用者へのサービスの向上につながります。本年度では、新採用職員研修を年4回開催し、中堅職員研修、リーダー研修、管理者・施設長研修、給食職員、リハビリ職員研修を実施しました。研修委員会において職員研修の体系化、充実化に取り組んだ年でもありました。

新しい法人事務局をよろしく

法人事務局長　鈴木　新

2010年10月に十字の園法人事務局に入職し、12月から法人事務局長に任じられました。十字の園で役割を与えられ、職員の皆さんと共に福祉の現場で仕事ができることに改めて感謝しています。57歳での再就職ですが、名前の如く新たな気持ちで仕事に取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

この機会に法人事務局について紹介をします。2011年3月末に第2アドナイ館から浜松十字の園へ事務所を移転しました。理事長が施設長兼務から専任となり、事務局職員も第2アドナイ館との兼務から法人業務専任となりました。定款（ていかん=いわば法人の憲法）細則に、「法人事務局は法人全体の事務を統括し、経営管理に必要な事務を行う」と規定されています。主な業務は**総務**（①定款・規則規定の制定・改廃事務②理事会・評議員会・常務理事施設長会や研修部会等の総括事務③重要な契約、公印の管理、登記・訴訟等の法務、行政・諸団体との関連事務④採用・辞令交付等の人事、給与・退職金事務、法人各施設への通達連絡事務）、**調査企画**（①新規事業の計画実施事務②経営統計・調査等の事務③職員の教育・研修の企画）、**財務**（①予算・決算の総括事務②各施設会計の監査③寄付金・資産の管理）等を行なっています。東日本大震災の募金や被災地支援活動のような特命事項の企画調整を担当し、法人全体の連携を図り組織力を結集するのも役割です。

十字の園では、各施設が施設長のもとでのびのびと運営され、地域福祉の中核施設として成長してきました。創立51年目の本年度は、新しい福祉へ挑戦していくための組織づくりが法人の重点課題の一つです。事業の継続発展と組織の求心力がバランスを保って歩めるよう、法人事務局が各施設の連結ピンとなりたいと考えています。施設（現場）のための本部機能の確立を目指し、各施設と協働して新しい組織づくりに取組んでいきます。

伊豆高原十字の園新築完成報告

伊豆高原十字の園　事務主任　稲葉　雅一

社会福祉法人十字の園50周年事業として前年7月より本格的に工事がスタートし、平成23年3月8日石川建設株式会社による工事が完了し、建物の引渡しを受けました。その後備品搬入及び緑化工事等の整備をし、3月31日事業が完了しました。4月11日関係者各位を招き献堂式を行い、16日には旧施設より入居者58名の方が新施設に引越し、生活を始めました。

施設の概要

各事業　特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、通所介護、訪問介護、居宅介護支援事業、地域包括支援センター、介護タクシー他
所在地　静岡県伊東市八幡野1028−4
定員　特養/90名　短期入所/10名　デイサービス/20名
敷地面積　25,699㎡　建築延面積/5,479.56㎡
建物構造　鉄筋コンクリート造　地上3階
別棟・交流ホール/鉄骨造・平家建
総事業費　1,744,336,453円　（土地取得費を含む）
補助金　548,434,000円　（静岡県、伊東市、グリーンバンク）
借入金　1,157,000,000円

社会福祉法人 十字の園

2010(平成22)年度 決算報告

福祉事業会計会計　貸借対照表　（単位：千円）

資産の部		負債の部	
流動資産	1,458,994	流動負債	618,442
現金預金	489,442	未払金	57,191
未収金	965,908	施設整備等未払金	545,507
未収補助金	0	預り金	15,744
立替金	1,125		
前払金	2,519	固定負債	2,018,071
固定資産	5,318,678	設備資金借入金	1,774,833
基本財産	3,137,124	長期運営資金借入金	0
土地	570,446	他会計区分長期借入金	83,000
建物	2,566,678	長期預り金	121,292
その他の固定資産	2,181,554	退職給与引当金	38,946
土地	246,799	負債の部 計	2,636,513
建物	1,318,517	純資産の部	
構築物	75,524	基本金	870,123
車輌運搬具	13,885	国庫補助金等特別積立金	2,133,221
器具及び備品	126,170	積立金	148,772
権利	3,328	施設整備等積立金	118,972
他会計区分長期貸付金	83,000	修繕積立金	29,800
施設整備等積立預金	118,972	減価償却積立金	0
修繕積立預金	29,800	備品等購入積立金	0
管理費積立預金	121,292	次期繰越活動差額	989,043
退職共済預け金	38,946	(うち当期活動収支差額)	59,325
福利厚生資金預け金	5,100	純資産の部 計	4,141,159
長期預け金	221		
資産の部 計	6,777,672	負債・純資産の部 計	6,777,672

福祉事業会計会計　事業活動計算書　（単位：千円）

勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
人件費	2,017,455	介護保険収入	2,796,428
経費	682,098	国庫補助金等特別積立金取崩額	111,002
(直接介護費)	416,673		
(一般管理費)	265,425		
利用者負担減免額	4,142		
減価償却費	185,458		
引当金繰入	6,266		
事業活動支出 計	2,895,419	事業活動収入 計	2,907,430
借入金利息	11,841	借入金利息補助金収入	3,172
その他の事業活動外支出	12,797	受取利息配当金収入	347
雑損出	1,167	寄附金収入	15,265
		その他の事業活動外収入	14,363
		雑収入	8,983
事業活動外支出 計	25,805	事業活動外収入 計	42,130
国庫補助金等特別積立金繰入額	560,786	施設整備等補助金収入	573,803
他会計区分繰入金支出	56,630	施設整備等寄付金収入	100
その他の特別支出	795	固定資産受贈額	4,017
		固定資産売却益	150
		他会計区分繰入金収入	56,630
		会計区分外繰入金収入	14,500
特別支出 計	618,211	特別収入 計	649,200
当期活動収支差額	59,325		
借方 合計	3,598,760	貸方 合計	3,598,760

診療所会計　貸借対照表　（単位：千円）

資産の部		負債の部	
流動資産	29,713	流動負債	744
現金預金	26,002	未払金	744
未収金	3,242	固定負債	0
貯蔵品(薬品)	469		
固定資産	419	負債の部合計	744
器具及び備品	419	基本金	0
		国庫補助金等特別積立金	0
		次期繰越活動差額	29,388
		(うち当期活動収支差額)	3,150
		純資産合計	29,388
資産の部 合計	30,132	負債・純資産の部 合計	30,132

診療所会計　事業活動計算書　（単位：千円）

勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
事務費支出	5,903	診療収入	24,220
診療支出	6,519	診療外収入	2,075
減価償却費	175	受取利息配当金収入	11
		雑収入	3,941
事業活動支出 計	12,597	事業活動収入 計	30,247
施設会計繰入金支出	7,000		
本部会計繰入金支出	7,500		
特別支出 計	14,500	特別収入 計	0
当期活動収支差額	3,150		
借方 合計	15,747	貸方 合計	30,247

就労支援会計　貸借対照表　（単位：千円）

資産の部		負債の部	
流動資産	13,828	流動負債	645
現金預金	6,042	未払金	645
未収金	7,145		
貯蔵品(薬品)		固定負債	880
仕掛品	344	退職給与引当金	880
原材料	297	負債の部合計	1,525
固定資産	7,360	純資産の部	
車輌運搬具	2,997	基本金	0
器具及び備品	3,483	国庫補助金等特別積立金	1,473
退職共済預け金	880	次期繰越活動差額	18,190
その他の固定資産		(うち当期活動収支差額)	21
		純資産合計	19,663
資産の部 合計	21,188	負債・純資産の部 合計	21,188

就労支援会計　事業活動計算書

勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
製パン事業支出	6,026	製パン事業収入	7,855
縫製事業支出	1,597	縫製事業収入	649
陶芸事業支出	1,059	陶芸事業収入	222
下請事業支出	1,987	下請事業収入	2,311
その他事業支出	437	その他事業収入	124
就労支援事業活動支出	11,106	就労支援事業活動収入	11,161
人件費支出	29,471	自立支援費収入	33,298
事務費支出	4,238	経常経費補助金収入	2,438
事業費支出	971	寄付金収入	82
減価償却費	1,261		
福祉事業活動支出	35,941	福祉事業活動収入	35,818
		受取利息配当金収入	2
事業活動外支出	0	事業活動外収入	2
国庫補助金当特別積立金積立額	1,560	施設整備等補助金収入	1,560
		国庫補助金当特別積立金取崩	87
特別支出	1,560	特別収入	1,647
当期活動収支差額	21		
借方 合計	48,628	貸方 合計	48,628

財産目録　（単位：千円）

資産・負債の内訳		金額
Ⅰ 資産の部		
1. 流動資産		1,502,535
現金預金	手持現金	521,487
未収金	(介護報酬他)	976,294
立替金	職員利用者立て替え	1,125
前払金	建物保険料他	2,519
貯蔵品(薬品)	(棚卸残高)	469
仕掛品	ワークショップマナ	344
原材料	ワークショップマナ	297
2. 固定資産		5,326,456
(1)基本財産		3,137,124
土地	(29筆 27,935.00㎡)	570,446
建物	(11棟 23,259.44㎡)	2,566,678
(2)その他の固定資産		2,189,332
土地		246,799
建物	(倉庫・物置)	1,318,517
構築物	(門扉・陸橋等)	75,524
車輌運搬具		16,882
器具及び備品		130,072
権利	(松崎温泉利用権)	3,328
他会計区分長期貸付金	(本部経理区分会計)	83,000
施設整備等積立預金		118,972
修繕積立預金		29,800
管理費積立預金	(ケアハウス入居一時金)	121,292
退職共済預け金	(退職共済積立金)	39,825
長期預け金		221
福利厚生資金預け金		5,100
資産の部 合計		6,828,991
Ⅱ 負債の部		
1. 流動負債		619,831
未払金	(業者支払い他)	58,580
施設整備等未払金	(伊豆高原施設整備支払い)	545,507
預り金	(所得税他)	15,744
2. 固定負債		2,018,950
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構 7口	1,471,935
設備資金借入金	民間金融機関 2口	302,898
他会計区分長期借入金	(伊東養護、伊豆高原会計)	83,000
退職給与引当金	静岡県退職共済	39,825
長期預り金	ケアハウス入居一括徴収金	121,292
負債の部 合計		2,638,781
差引純資産		4,190,210

各施設からの事業報告

浜松十字の園　施設長 山本 隆弘

2010年度運営重点目標「ホッと安心できる居場所を創ります」。これを具体化する4つの目標①専門的な知識と技術により安心のあるサービスを提供します。②安心して働くことのできる環境を整えます。③気楽に立ち寄っていただける雰囲気を創ります。④創立の精神と歩みを再確認し、私たちの役割を自覚します。を掲げ歩んできました。福祉は一人ではできません。知識と技術だけでなくチーム力も求められます。研修・労働環境改善・地域連携・50年の振り返り、これらの取り組みを通じてチーム力に対する意識が高まりました。今後、更に意識と質を高めていきます。

伊豆高原十字の園　次長 重永 仁美

「ディアコニアの精神」これが伊豆高原の年間テーマでした。職員全体での勉強会は平井理事長から「十字の園魂・十字の園人」について熱いメッセージを直接受け次年度の「ユニットケア」へと繋げます。

朝9時からの礼拝は職員を含め、市内教会の牧師先生方の協力を得て、これまで30年間守ることができました。

前年に比べ入居者の入院や召天者が増加したことによって目標収益に達成できませんでしたが短期入居の高稼動で幾分カバーできました。通所介護の減収については今後の大きな課題であり見直しを図ります。

松崎十字の園　施設長 三條 洋二

精神的基盤としての朝の礼拝は、松崎教会、下田教会の牧師そしてクリスチャンの職員に支えられて続けることができました。感謝です。

松崎十字の園は、92名の職員と教会や利用者の家族、地域のボランティアに支えられ、高齢者施設、障碍者施設、就労支援の業務に当る事が出来ました。皆様に感謝です。高齢者9名障碍者3名の利用者が天に召されましたがそれぞれの方は、家族や職員に見守られて安らかなお顔をされていました。神様に感謝です。

第2アドナイ館　施設長 鈴木 淳司

「自分らしく、その人らしく、生き生きと」をモットーに、2年目では初年度に実施された日常のレク（趣味活動）に加えて、「午後プロ」と称した個別のニーズに応えるようなプログラムを実施しました。疾病により入院者、入院日数が多くありました。うち3名は療養病院、特養に転居できるよう相談支援をし、3名は介護を提供し、第2アドナイ館での生活を継続しています。介護力アップが課題となった年でもありました。

御殿場十字の園　施設長 宮島 克利

2010年度においても、御殿場教会のご協力をいただきながら、毎朝の礼拝から1日を始められ、キリスト教精神による運営に心掛けました。

事業として、サテライト型たかね通所介護センターの移転開設。給食委託業者のプレゼンによる契約見直し。地域包括支援センターによる介護予防サポーター養成講座など行いました。

人材育成において、計画的に研修機会を増やしたとともに、人事異動など行い、チームワークの促進と質の向上に努めました。

アドナイ館　施設長 上野 貢一

法人理念、「夕暮になっても光がある」聖句を掲げ、定款第1条の目的「キリスト教主義の精神にたって福祉サービス提供」具現化の為、ハウス、デイサービスの質向上に取り組んだ。

毎朝、入居者、職員と共に礼拝を守った。常勤理学療法士を採用し機能訓練、歯科衛生士による口腔ケア等を行った。毎月の勉強会以外に外部講師により成年後見制度の勉強会を行なった。

屋外汚水管補修工事等、厨房洗浄機更新、その他大口寄附者の意向で軽自動車を購入した。

伊東市立養護老人ホーム 平和の杜　施設長 森 茂廣

大池居宅介護支援事業所の再開で、平和の杜は、地域に対して、生きがい支援から要介護者支援迄、連続的なサービスを提供できる施設として、更に成長したと言えます。

ホームにおいても、個別の対応や、小グループ活動に取り組めるようになっています。また、多様な事情の方々を、無条件で受け入れ、共生する力が着実に育っていると言えます。

そのような「なごやかでのびやかな平和の杜」の『想い出アルバム』として、広報「平和の杜」を発行しています。

法人事務局　事務局長 鈴木 新

2010年度は創立50周年記念事業としての十字の園大会を、浜松3施設と協同で準備・開催し、関係各位から十字の園らしい記念大会と評価いただいた。

伊豆高原十字の園の移転改築整備事業では、補助金借入金申請、工事入札、建築会議、式典開催、行政対応等施設への協力・支援を行い年度内の竣工となった。監査立会い等で各施設運営上の課題解決への支援に取り組み、年度後期から専任事務局長を配置し法人本部機能の再構築に着手した。

法人事務局が元理事長室に引越しました

法人事務局　豊田 くみ子

法人事務局が、2011年3月30日より浜松十字の園事務所の奥にあった元理事長室に引っ越しました。

2009年6月1日に開設した第2アドナイ館の施設長を平井理事長が兼務されていたこともあり、法人事務局第2アドナイ館の事務所に移動していました。

この4月より第2アドナイ館に新施設長が就任したことから、寿司詰め状態の事務所を脱出して、リフォームした元理事長室へ移りました。

2011年度からの法人事務局は、新しくなった事務所で、新しい法人電話番号（代表：053－414－1400）も備わり、理事長・事務局長・事務員の総勢5人で業務に取組んでいます。

浜松十字の園や近くにお越しのさいは、ぜひとも法人事務局にお立ち寄りください。

おいしい食事はきれいな口から

浜松十字の園　伊藤 直美

浜松十字の園では、プロジェクトとユニット職員を中心に、利用者の方に毎日の食事をおいしく食べて頂けるよう、「おいしい食事はきれいな口から」をテーマに、昨年から歯科医の鎌田先生にブラッシングの指導をして頂いています。

今年は先生のご好意で、月2回、利用者の方の歯科検診も行っています。しかも無料です。ブラッシング指導は、利用者の方が日頃から疑問に思っていたことを直接質問できますし、歯の模型を使ってわかりやすく説明してくださいます。

歯科検診も一人一人丁寧に見てくださり、アドバイスをしてくださいます。職員も口腔ケアに関心を持ちはじめ、歯ブラシ一本にしても一人一人に合うものを探し、職員同士活発な意見交換がなされています。ブラッシング指導や歯科検診を通じて、おいしい食事を楽しんで頂くためには、口腔ケアがとても大切であることを学びました。何より利用者の方が楽しんで参加してくださっています。

鎌田先生お忙しい中ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

厨房スタッフの紹介です。

アドナイ館　前田　朗江

御利用下さる皆様が穏やかに暮らす事のできる様に食べる事の大切さや、楽しみ、喜びを感じていただけるよう“食”を通じてお手伝いしています。

名　前	大切にしているもの	自分を何かにたとえたら？	老後は何をしている？
影山博美	愛犬と家族	やっぱり犬かな（犬年でもあり、目を見ていると気持ちが分かるような…）	友達といろんなお店のランチを食べ歩いているかも
鈴木恵美子	家族と健康	とど（体型です）	温泉めぐりや全国各地旅行を楽しんでる
夏目正樹	家族とお酒	必殺イベント人（祭り、自治会等の行事を考える）	村で老人向けの気楽に飲める居酒屋のおやじ
縣　麻希子	家族、ペット、本	猫（のんびりごろんとしているところ）	一日中のんびりと、お茶したり花を育てたりしている
榊原ミサ子	家族	ニワトリ（2・3歩移動すると物事を忘れるから）	今と余り変わりなく、花をながめながらのんびりしていると思う。
長谷川豊子	家族	カエル（子供の頃に言われ…ひきずってます）	想像つきませんがアドナイ館にお世話になってのんびり暮らしているかも
前田朗江	家族 子供がはじめてくれた母の日のプレゼント	ぶどうの枝・バランスボール（人の体重をあずけても破損しない強度と弾力！！不安定感によってバランス感覚をとっている）	グルコサミン、コラーゲンを飲み、ジム通い、そしてジム仲間と女子会！！

新たなスタート

第2アドナイ館　施設長　鈴木 淳司

6月に3年目を迎えた第2アドナイ館は、4月より施設長が交代し、新しくスタートすることになりました。「第2アドナイ館施設長として大きな責任を任されることになりました、鈴木淳司です。ご利用者様と一緒に、大切な一日一日を、楽しく作ることができたらと思っています。皆様、よろしくお願いいたします。」

私は、皆様の想いと支援を受けて、被災地、岩手県大槌町に行ってきました。岩手県は、静岡県が支援に入っている所で、ちょうどこどもの日を前に、静岡県より多くのこいのぼりが、届けられました。多くのこいのぼりが、明日への希望を乗せて、元気に泳いでました。写真は、大槌町立安渡（あんど）小学校のこいのぼりです。

また、第2アドナイ館では、昨年度より、月毎の行事以外に午後プロと称して、個別のニーズに応えるような取り組みをしています。写真は、花畑へのドライブや、畑の野菜を収穫している所です。晩御飯に、一品添えて食べました。

誕生会でも、お寿司を目の前で握って頂いたり、職員が所属する"はるちゃん劇団"の劇を鑑賞したりと、楽しい時間を過ごして頂いています。

2011(平成23)年度　新規採用者

【浜松十字の園：12名】
(介護士) 村松孝枝、長谷川真利子、前田均、武井敦子、中間直美、名倉千保子、奥村瑞穂、伊藤みちる、小倉早織、佐々木玲美、山梨美加
(看護師) 舘林万里子

【御殿場十字の園：5名】
(介護士) 岩田彩菜、勝又英樹、八木澤綾夏　(介護支援専門員) 小宮山聡美
(看護師兼介護支援専門員) 村上洋美

【伊豆高原十字の園：44名】
(介護士) 大高祐樹、稲葉ミキヱ、森田君江、小松悦子、菅野真由美、釜雅代、三上喜代乃、中澤葉子、松嶋博文、鈴木唯、古屋ひとみ、石川昌美、高坂秀行、堀江雅子、井上正之、中井比呂美、杉本己代子、渡邉靖子、吉崎智美、影山大地、落合麻代、望月浩、山下沙也加、渡辺実穂子、弘中慶大、大隈晃来、星野大将、鈴木秀一、稲葉春奈、斎藤ゆき子、柴崎美穂子　(介護支援専門員) 渡辺奈留美
(看護師) 坂下幸子、大川智加枝、山崎ひろみ、萩坂麻美　(介助員) 遠藤裕俊、石橋茉奈香
(ヘルパー) 岡谷不二子、小坂厚子　(栄養士) 山下遥奈、鈴木智子　(調理師) 須賀沢唯峰　(運転手) 石川公弘

【松崎十字の園：7名】
(介護士) 齋藤真希、外岡彩、長屋裕貴、斎藤理加、久野由香、長島洋海　(看護師) 堤妙子

【アドナイ館：1名】
(調理員) 縣麻希子

【伊東市立養護老人ホーム：7名】
(介護士) 小林千夏、高島紀子、伊藤伸光、松田美幸、丹羽隆介　(介護支援専門員) 貫洞祥子
(調理員) 永原克世

【第2アドナイ館：1名】
(介護士) 長谷川智美

【法人事務局：1名】
(事務) 鈴木新

計77名（辞令交付式には47名が出席しました）

温かいご支援をありがとうございます!

2010年度も多くの皆様からこころ温まるご支援とご寄付を賜り誠にありがとうございました。皆様方から寄せられたご寄付は、より良い施設づくりのための施設整備及び備品購入にあてさせて頂きます。

法人本部	20件	330,000円
浜松十字の園	59件	2,340,360円
御殿場十字の園	114件	1,636,465円
伊豆高原十字の園	83件	1,972,619円
松崎十字の園	19件	1,729,000円
アドナイ館	125件	5,873,986円
御殿場アドナイ館	2件	31,860円
オリーブ	5件	170,000円
伊東市立養護老人ホーム平和の杜	28件	721,244円
第2アドナイ館	28件	459,860円
合計	483件	15,265,394円

今後とも、福祉共生社会の成熟に貢献しつつ、皆様の声に適切に応える施設として活動する十字の園へのご支援を宜しく御願い致します。

皆様の温かい御支援をお待ちしております!!

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7220-11
社会福祉法人　十字の園
理事長　平井　章
銀行振替　静岡銀行細江支店　普通 0015345

あとがき

先日、幼稚園の父親参観で行った磯遊び。私が幼稚園の時に行った同じ海は25年経ち綺麗に整備されていましたが、変わらぬ磯の生き物に私の方が楽しんでいました。

何気ない日常ですが、普通に生活できることに改めて感謝しました。　(いわもと)

車の寄贈感謝です!

2011年3月30日、ワークショップマナでは日本財団様より車輌購入助成金を頂き、日産キャラバンを購入することが出来ました。現在利用者の送迎に活用してます。日本財団様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。